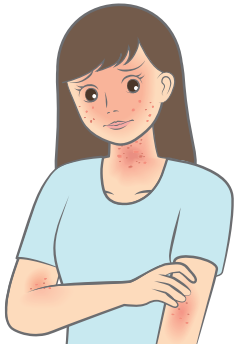


# 重度のアトピー性皮膚炎で悩む人は知っておきたい 皮下注射タイプの新薬が登場

立川皮膚科クリニック

www.tachikawa-derma.com

## アトピー性皮膚炎の症状



異常な高温に大汗をかき、さらにクーラーの冷気で冷やされ、肌にとって過酷な時期。アトピー性皮膚炎が、ぶり返したり、悪化した人もいるのでは…。そこで、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医・立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に、アトピー性皮膚炎について聞きました。

「アトピー性皮膚炎は、抑えるのが基本的な治療法になります。症状に合わせていくつかの薬剤を組み合わせさせていただきます」  
「ここ数年、塗り薬のみ薬、皮下注射などの新しい薬が承認され、重症のアトピー性皮膚炎の治療の選択肢が増えていまして。そんな中で今年の5月から使えるようになったのが、生物学的製剤のイブゲリス（皮下注射）」。今までの治療ではかゆみは軽減したけれど、どうしても皮膚の赤みがとれない、ほかのアレルギー症状もある人などには、いい結果が報告されているようです。

「アトピー性皮膚炎は、抑えるのが基本的な治療法になります。症状に合わせていくつかの薬剤を組み合わせさせていただきます」  
「ここ数年、塗り薬のみ薬、皮下注射などの新しい薬が承認され、重症のアトピー性皮膚炎の治療の選択肢が増えていまして。そんな中で今年の5月から使えるようになったのが、生物学的製剤のイブゲリス（皮下注射）」。今までの治療ではかゆみは軽減したけれど、どうしても皮膚の赤みがとれない、ほかのアレルギー症状もある人などには、いい結果が報告されているようです。

「アトピー性皮膚炎は、抑えるのが基本的な治療法になります。症状に合わせていくつかの薬剤を組み合わせさせていただきます」  
「ここ数年、塗り薬のみ薬、皮下注射などの新しい薬が承認され、重症のアトピー性皮膚炎の治療の選択肢が増えていまして。そんな中で今年の5月から使えるようになったのが、生物学的製剤のイブゲリス（皮下注射）」。今までの治療ではかゆみは軽減したけれど、どうしても皮膚の赤みがとれない、ほかのアレルギー症状もある人などには、いい結果が報告されているようです。

院長：伊東秀記  
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

問い合わせ  
TEL042-843-1377  
JR「立川」駅南口徒歩2分

2024年8月30日付「リビング多摩」に掲載されました